

国内標準委員会 令和 7 年度下期報告

1. 委員会構成及び活動概要：

本委員会は、委員長 高橋 弘 先生（東北大学大学院教授）、中立者 7 名(委員長含む)、生産者 5 名、使用者 5 名の委員 17 名、及び関係者 1 名、事務局 3 名の計 21 名で構成。

JIS 原案作成は、日本規格協会（以下「JSA」）の JIS 原案作成公募事業に応募して推進しており、規格毎に専門家で構成する分科会を開催して原案の詳細を検討し、本委員会で審議・承認している。

今年度は JIS 改正 2 件の原案を作成し発行された。その他、4 件(新規制定 1 件・改正 3 件)の原案を作成中。他に、JCMAS(1 件)を新規制定した。また、来年度の計画として 7 件の原案作成について JIS 原案作成公募事業に応募した。

2. JIS 原案作成関連：

1) 2025 年度区分 B（原案作成期間：2025 年 7 月～2026 年 2 月）：

- ・ JIS A 8339 土工機械－クイックヒッチ（クイックカプラ）－安全性（追補改正）
- ・ JIS A 8330-5 土工機械－運転室内環境－第 5 部：前面窓ガラスデフロスタ試験方法（改正）

この 2 件は、昨年 7 月に分科会(Web)で協議し分科会原案を作成し、9 月に国内標準委員会で審議・承認を受け、10 月に原案を JSA へ提出した。（2 月 20 日官報公示・発行された）

2) 2025 年度区分 C（原案作成期間：2025 年 10 月～2026 年 5 月）：

- ・ JIS A 8342 土工機械－火災予防指針（新規制定）

この規格は、昨年 12 月に分科会(Web)を開催して原案を作成し、2 月後半に国内標準委員会で書面審議中。3 月末までに JSA へ提出の見込み。

3) 2025 年度区分 D（原案作成期間：2026 年 1 月～2026 年 8 月）：

- ・ JIS A 8111 土工機械－アワメータ（追補改正）
- ・ JIS A 8313 土工機械－製品識別番号（改正）
- ・ JIS A 8909 土工機械－保護構造の室内評価試験－たわみ限界領域の仕様（追補改正）

この 3 件は、今年度の JIS 5 年見直しで改正要望があった案件。3 件とも小変更なので、3 月に分科会委員で原案を作成し、4 月末までに JSA へ提出の見込み。

4) 2026 年度の作成計画：

下記の原案作成を JIS 原案作成公募事業に応募した。

2026 年度区分 B（原案作成期間：2026 年 7 月～2027 年 2 月）

- ・ JIS A 8341(機能安全)シリーズの第 1 部、第 2 部、第 3 部、第 4 部（改正）
- ・ JIS A 8201 シールド掘進機の仕様書様式（追補改正）
- ・ JIS A 8502 振動パイルハンマの仕様書様式（追補改正）

2026 年度区分 C（原案作成期間：2026 年 10 月～2027 年 5 月）

- ・ JIS A 8341(機能安全)シリーズの第 5 部（新規制定）

5) JIS 5 年見直し

JIS は産業標準化法によって、制定・改正・確認から 5 年以内に見直すことが決められており、JSA から、令和 8 年度に 5 年見直し時期となる 49 件についての調査依頼があり、国内標準委員会・各技術委員会の要望を調査し、44 件を「確認」とし、5 件を「改正」として JSA へ回答した。

3. 団体規格 JCMAS 関連：

路盤・舗装機械技術委員会から JCMAS H 024 「締固め機械－エネルギー消費量試験方法－ローラ」の新規制定の要望があり、路盤・舗装機械技術委員会が作成した原案について、国内標準委員会で書面審議を行い、WTO/TBT 通報・意見公告などの手続きを経て 2 月 5 日制定(発行)した。

以上